

(1時間: 45分)

	授 業 科 目	必須/選択の別	学年	標準時間数
11520	Linux	必須	3	30
11530	オブジェクト指向プログラミング	〃	3	90
12110	ビジネスマナーと文書技法	〃	3	30
13410	ネットワーク設計とクラウド	〃	3	60
14100	AIの活用と開発手法	〃	3	30
14110	Python/AIプログラミング	〃	3	60
14510	プロジェクトマネジメント	〃	3	30
17702	統計学 2	〃	3	30
18370	プレゼンテーション演習	〃	3	30
20030	キャリアデザイン 3	〃	3	30
20040	キャリアデザイン 4	〃	3	30
91043	英語 3	〃	3	20
91200	画像システム論	〃	3	30
91270	コンピュータネットワーク論	〃	3	30
91290	コンピュータグラフィックス論	〃	3	30
93000	総合情報学概論	〃	3	60
小計				620
98134	総合情報処理 3－2 (レベル 2)	必須選択 ※1	3	60
98135	総合情報処理 3－2 (レベル 3)	〃	3	60
98136	総合情報処理 3－2 (レベル 4)	〃	3	60
99105	自主課題研究 3－2	〃	3	60
98141	総合情報処理 4 (レベル 2)	〃	3	120
98142	総合情報処理 4 (レベル 3)	〃	3	120
98143	総合情報処理 4 (レベル 4)	〃	3	120
99106	自主課題研究 4	〃	3	120
98151	総合情報処理 5－1 (レベル 2)	〃	3	100
98152	総合情報処理 5－1 (レベル 3)	〃	3	100
98153	総合情報処理 5－1 (レベル 4)	〃	3	100
99107	自主課題研究 5－1	〃	3	100
小計				280
必須科目計				900

※1 必須選択は、各太枠内から 1 科目選択する。

HCS共通行事				外部資格試験				大学コーススクーリング・試験日程				大学併修科 3年			
4	前	1	火	前期授業開始				1	火	前期インターネットメディア授業開始	【大学科目】 デジタル画像概論 英語Ⅲ 初級中国語 情報倫理 情報職業論 人工知能の基礎 アントレプレナーシップ論 プログラミング基礎 哲学 定量分析とその応用 ※編入者は追加履修有、各自履修を確認				
		3	木	HIU入学式(新入生)			* 例年実施される月または実施予定日で記入してあります。								
		4	金	入学式(新入生)											
		7	月	オリエンテーション・防犯講話(新入生)				7	月	前期IPメディア授業放映開始					
		8	火	授業開始・オリエンテーション(新入生)											
		21	月	健康診断(4/24まで)											
5	期	22	火	G-DREAMS	20	日	情報処理技術者試験				【専門学校科目】 オブジェクト指向プログラミング ビジネスマナーと文書技法 統計学2 プロジェクトマネジメント Linux プレゼンテーション演習 キャリアデザイン3 総合情報学概論 画像システム論 英語3 総合情報処理3-2(レベル2～4) 自主課題研究3-2 総合情報処理4(レベル2～4) 自主課題研究4				
				ボウリング大会											
		7	水	新入生保護者会 5/16 まで											
								19	月	印刷・インターネットメディア授業科目試験① ～26(月)					
				ボウリング大会											
6	期	10	火	運動会				6	金	前期地方SC(1) 人工知能の基礎 ～8(日)					
					8	日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験								
7	期	17	火	献血				20	金	前期地方SC(2) アントレプレナーシップ論 ～22(日)					
						情報活用試験	30	月	前期IPメディア授業科目試験 ～3(木)						
					13	日	マルチメディア検定								
					27	日	基本情報技術者試験 科目A免除修了試験	15	火	印刷・インターネットメディア授業科目試験② ～22(火)					
8	期	26	土	夏休み 8/19まで											
9	期	20	水	夏休み明け授業開始							【資格試験】 ・基本情報技術者試験 ・応用情報技術者試験 (基本情報技術者試験取得者) ・高度種技術者試験 (応用情報技術者試験取得者)				
9	期	5	金	学園祭				1	月	後期IPメディア授業放映開始					
		25	木	TGS2025 9/28まで			情報システム試験								

[illegible]

科目番号：A-50430

科 目 名			時間数(90 分)			
L i n u x			講 義	演 習	実 習	合 計
					15	15
科 目 概 要	サーバOSとして高いシェア率のL i n u xについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。					
学 習 到 達 目 標	L i n u x の概念を理解するとともにコマンドの使い方を習得することで、実際のサーバを操作できるスキルを習得する。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	Linux の概要		13	総合実習	
	2	ユーザ管理		14		
	3	プロセス		15	科目試験	
	4	ファイルシステムとディレクトリの操作				
	5	パーミッション				
	6	シンボリックリンクとパス指定				
	7	エディタ (vi)				
	8	エディタ (jvim)				
	9	ネットワークとバックアップ関連コマンド				
	10	シェル				
	11	シェルの操作				
	12	シェルスクリプト				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	イラストでそこそこわかる Linux コマンド入力からネットワークのきほんのきまで		翔泳社		
実 習 環 境	Tera Term					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：R-31102

科 目 名			時間数(90 分)			
オブジェクト指向プログラミング			講 義	演 習	実 習	合 計
			15	30		45
科 目 概 要	プログラムで実現したいこと（正解）に辿り着くためのオブジェクト指向による考え方を学び、オブジェクト指向の本質的な理解を目指す。 カプセル化、継承、多態性にフォーカスし、單元ごとの演習課題では実際に手を動かしたり、考えたりすることで、オブジェクト指向でゼロからプログラムを作成する力を身につける。					
学 習 到 達 目 標	・カプセル化、継承、多態性の機能を用いたプログラムを作成できる。 ・オブジェクト指向のメリットを理解し、プログラムに反映できる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1 ～ 5	環境構築および復習		23 ～ 25	カプセル化	
	6	オブジェクト指向について		26 ～ 29	JavaAPI	
	7 ～ 9	インスタンスとクラス		30 ～ 32	文字列処理	
	10 ～ 12	コンストラクタ		33 ～ 35	コレクション	
	13 ～ 15	継承		36 ～ 38	例外処理	
	16 ～ 19	高度な継承		39 ～ 44	演習	
	20 ～ 22	多態性		45	評価試験	
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	スッキリわかる Java 入門 第3 版		インプレス		
実 習 環 境	副教材					
	エディタ (Visual Studio Code)					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (50%) ・科目試験 (50%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-50290

科 目 名			時間数(90 分)			
ビジネスマナーと文書技法			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	ビジネスマナーと e メールを含むビジネス文書について、講義とさまざまなケーススタディにおける接客対応の実例や確認問題を通して習得する。 なお、本科目はコンテンツ開発企業でコンテンツ制作とプロデュースに携わった実務経験を持つ講師が、その知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	基本的なビジネスルールを習得し、誤解や失礼のない定型的なビジネス文書が書けるようになることで、社会人として相応しい対応を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	コミュニケーション力とは				
	2	話すことと書くこと				
	3	効果的な話し方				
	4	敬語				
	5	職場のマナーと執務上のマナー				
	6	電話の受け方、掛け方				
	7	来客対応と席次				
	8	身だしなみ				
	9	効果的な書き方				
	10	電子メールの知識				
	11	電子メールの書き方、出し方				
	12	ビジネス文書の知識と構成				
	13	ビジネス文書の作成実践				
	14	まとめ				
	15	科目試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	入社 1 年目ビジネスマナーの教科書		プレジデント社		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：S-22081

科 目 名			時間数(90 分)			
ネットワーク設計とクラウド			講 義	演 習	実 習	合 計
			10	20		30
科 目 概 要	前半では、ネットワーク構築のために必要な基礎理論を学び、ネットワークの設計方法を習得する。 後半では、クラウドサービス全般の知識について、実習を通して習得する。					
学 習 到 達 目 標	アドレス計算ができるようになり、実際のネットワークに割り当てることができるようになる。また、ルーティングの仕組みを理解し、効率の良いネットワークを設計・構築できるようになる。クラウドサービスにおいては用語を理解し、実際にAWSを活用してネットワークを構築できるようになる。 最終的には、応用情報技術者のネットワーク・システムアーキテクト系の問題が解けるようになる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	オリエンテーション ・科目概要の説明 LAN の構成 ・ LAN		16	AWS の特徴 ・クラウドの特徴 ・ AWS でできること	
	2	インターネットの構成 ・ インターネット ・ ネットワークアーキテクチャ		17	AWS のセキュリティ ・ 安全に作業するために	
	3	IP アドレス		18	ネットワークサービス ・ VPC	
	4	・ IP アドレス ・ サブネットマスク		19		
	5	DNS		20	コンピュートサービス	
	6	・ DNS による名前解決		21	・ EC2	
	7	TCP と UDP ・ ポート番号		22	データベースサービス ・ RDS	
	8	TCP/IP の設定		23	ストレージサービス ・ S3	
	9	・ デフォルトゲートウェイ ・ DHCP、通信確認		24		
	10	スイッチとルータ ・ ARP テーブル ・ ルーティングテーブル		25	モニタリングと分析サービス ・ CloudWatch	
	26			料金とサポートサービス ・ コスト確認 ・ 見積り		
	27					
	13	ネットワークのまとめ		28	AWS のまとめ	
	14			29		
	15	中間試験		30	最終試験	
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	AWS ではじめるインフラ構築入門 第 2 版 安全で堅牢な本番環境のつくり方		翔泳社		
	副教材	配布教材				
実 習 環 境	AWS Academy Learner Lab					
	AWS Skill Builder					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・ 科目試験 (100%) 中間試験 期末試験			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-51131

科 目 名			時間数(90 分)			
AI の活用と開発手法			講 義	演 習	実 習	合 計
			9	3	3	15
科 目 概 要	AI（人工知能）の「しくみ」「活用法」「利点・欠点」について、事例や演習・実習を通して AI 関連システムの開発に必要な知識を学習する。					
学 習 到 達 目 標	AI の基礎知識と現状を理解し、将来に向けた最適な AI の提案とシステム構築への応用力を身につける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	AI の歴史		16		
	2	AI の発展過程		17		
	3	AI のビジネス活用		18		
	4	AI にできること		19		
	5	機械学習		20		
	21					
	7	ニューラルネットワーク		22		
	8	ディープラーニング（深層学習）		23		
	9	AI の実例（顔検出）		24		
	10	AI の実例（物体検出）		25		
	11	AI の実例（まとめ）		26		
	12	AI の実装手段		27		
	13	AI の発達と影響を受ける産業		28		
	14	AI の将来		29		
	15	科目試験		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	AI の活用と開発手法（学習ノート）		SCC		
	副教材	実習用配布教材				
実 習 環 境	VirtualBox + Linux 仮想マシン					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	IT パスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：A-51071

科 目 名			時間数(90 分)			
Python／AI プログラミング			講 義	演 習	実 習	合 計
				30		30
科 目 概 要	AI サービスの開発に利用されている Python について、実習を通して言語の基礎知識を学び、基本文法～ディープラーニング等のプログラミング技術を習得する。					
学 習 到 達 目 標	Python を使った簡単なプログラムが作成できるようになるとともに、AI プログラムの基礎力を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	科目概要 イントロダクション 開発環境構築		15 ～ 17	例外処理 オリジナルアプリ開発（機能拡張）	
	2	計算処理		18 ～ 20	標準ライブラリ オリジナルアプリ開発（機能拡張）	
	3	変数		21 ～	ファイル処理 オリジナルアプリ開発（機能拡張）	
	4	文字列操作		23		
	5	入力処理		24 ～	機械学習・ディープラーニング オリジナルアプリ開発（機能拡張）	
	6	リスト型		26		
	7	条件分岐		27 ～	成果物提出 模擬試験	
	8	繰り返し		29		
	9	辞書型		30	科目試験	
	10	集合型・タプル型				
	11	内包表記				
	12	関数				
	13	無名関数				
	14	オブジェクト指向				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	わかる Python[決定版]		SB クリエイティブ		
	副教材					
実 習 環 境	・Python3 系					
	・Anaconda					
	・Visual Studio Code					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	Python 3 エンジニア認定基礎試験			一般社団法人 Python エンジニア育成 推進協会		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号 : A-51311

科 目 名			時間数(90 分)			
プロジェクトマネジメント			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	プロジェクトマネジメントと PMBOK の概要について、講義と課題を通して用語知識を習得する。 なお、本科目は IT 企業でプロジェクトマネジメントの実務経験を持つ講師が、その知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	プロジェクトの目的と PMBOK の概要について理解することにより、将来的にプロジェクトマネージャーとして活躍するための基礎知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	プロジェクトマネジメントとは		14	まとめ	
	2	PMBOK とは		15	科目試験	
	3	プロジェクトの組織構造				
	4	ライフサイクル				
	5	マネジメントプロセス				
	6	総合マネジメント				
	7	スコープ・マネジメント				
	8	タイム・マネジメント				
	9	コスト・マネジメント				
	10	品質・マネジメント				
	11	人的資源・マネジメント				
		コミュニケーション・マネジメント				
	12	リスク・マネジメント				
	13	調達・マネジメント				
	ステークホルダー・マネジメント					
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	プロジェクトマネジメント		S C C		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (20%) ・科目試験 (80%) 別途定める評価シートに基づく			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：R-31790

科 目 名			時間数(90 分)			
統計学 2			講 義	演 習	実 習	合 計
			12		3	15
科 目 概 要	統計の基本的な概念や用語を学び、プログラミング実習を通じて統計手法活用の実践力を養う。					
学 習 到 達 目 標	統計の概念を数式や Python のプログラミングとともに理解し、統計手法を現実の問題解決で活用できるようになる。また、統計と AI との関係性についても理解を深めて AI エンジニアとしての素養を身につける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	AI と統計学		16		
	2	データの捉え方(1)		17		
	3	データの捉え方(2)		18		
	4	実習(1)データの集計と可視化		19		
	5	確率の基本		20		
	6	確率分布		21		
	7	標本調査		22		
	8	統計的検定		23		
	9	回帰分析		24		
	10	実習(2)回帰分析		25		
	11			26		
	12	AI を実現する手法(1)		27		
	13	AI を実現する手法(2)		28		
	14	まとめ		29		
	15	科目試験		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	統計リテラシー		noa 出版		
	副教材	配布プリント (AI 関連部分)				
		実習用配布教材				
		その他補助資料				
実 習 環 境	Microsoft Excel 2013 以降(2016 推奨)					
	JupyterNotebook (Python プログラミング環境)					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	なし					
成 績 評 価 方 法	科目試験 平常点 (確認問題、実習の成果)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：R-31541

科 目 名			時間数(90 分)			
プレゼンテーション演習			講 義	演 習	実 習	合 計
			2	13		15
科 目 概 要	個人・グループワークを通して、テーマを決め調査した情報を収集し整理活用できるドキュメント作成手順を学習し、自分の結論を理論的に説明できるプレゼンテーション技法を学ぶ。					
学 習 到 達 目 標	PowerPoint を用いて、効果の高いプレゼンテーション用スライドの作成と発表技法を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1 ～ 2	科目概要説明 プレゼンテーション概論 ・プレゼンテーションとは何か？ ・プレゼンテーションの作り方				
	3 ～ 5	企業紹介プレゼンテーション ・プレゼンテーションデザインシート の作成 ・スライド制作 ・リハーサル				
	6 ～ 15	卒業論文プレゼンテーション ・目的、ターゲット等の説明 ・プレゼンテーションデザインシート、スライド下書きの作成&提出 ・スライドの作成 ・クラス内プレゼンテーション				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	一生使える見やすい資料のデザイン入門完全版		インプレス社		
	副教材					
実 習 環 境	Microsoft Office PowerPoint 2019					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (85%) ・プレゼン (15%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：R-32111

科 目 名			時間数(90 分)				
キャリアデザイン 3			講 義	演 習	実 習	合 計	
					15	15	
科 目 概 要	就職活動に必要な履歴書やエントリーシートの作成を目指し、自分の強みや経験を整理する。自分の適性やキャリアビジョンを明確にし、採用担当者の視点を意識した書類作成を目指す。 本科目は IT 企業で業務に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。						
学 習 到 達 目 標	・自己分析の重要性をわかりやすく、自分の強みや価値観を明確にする ・履歴書・エントリーシートの基本構成をわかりやすく、企業に伝える書類を作成できるようにする						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1	就職活動の流れと履歴書・エントリーシートの役割 ・就職活動のスケジュールと企業の選考プロセス ・履歴書・エントリーシートの違いと重要性		8	自己 PR の作成(自分を魅力的に伝える) ・強みを根拠とともに伝える方法 ・エピソードを活用した説得力のある表現		
	2	自己分析①(価値観の整理) ・仕事に求めるものを明確にする ・大切にしたい価値観や働き方の整理		9	ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)の作成 ・具体的なエピソードの掘り下げ方 ・成果と学びの伝え方		
	3	自己分析②(強み・弱みの発見) ・これまでの経験を振り返り、強み・弱みを認識する ・SWOT 分析を使った自己理解		10	エントリーシートの作成①(企業別の対策) ・企業ごとのフォーマット・質問傾向の分析 ・記述式質問の書き方		
	4	自己分析③(経験の棚卸し) ・アルバイト、インターン、サークル活動などを振り返る ・企業が求める「行動特性(コンピテンシー)」との光合わせ		11	エントリーシートの作成②(模擬作成と添削) ・企業のエントリーシートに合わせた実践練習 ・相互レビューと講師からのフィードバック		
	5	キャリアビジョンの設定 ・短期・中長期のキャリアプランを考える ・業界・分野研究の進め方		12	面接を意識した書類作成 ・面接官がチェックするポイント ・書類から面接へつなげる工夫		
	6	履歴書基本構成と記入ルール ・履歴書フォーマットと基本項目 ・学歴・職歴・資格・スキルの書き込み		13	最終チェックとブラッシュアップ①		
				14	最終チェックとブラッシュアップ②		
	7	感情動機の作成(構成とポイント) ・企業研究の方法 ・企業に感動的な動機の文章		15	最終書類提出		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社			
	主教材	なし					
	副教材						
実 習 環 境							
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可			

科目番号：R-32121

科 目 名				時間数(90 分)			
キャリアデザイン 4				講 義	演 習	実 習	合 計
						15	15
科 目 概 要	本科目では、就職活動に必要な計画的なスケジュールリング、企業調査の方法、そしてSPI 試験対策を総合的に学ぶ。就職活動を効率的に進めるためのスケジュール管理を行い、企業研究の要点で、自分に適した企業選択やエントリー戦略を立てられるようにする。 本科目は IT 企業で業務に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。						
学 習 到 達 目 標	・就職活動のスケジュール管理を学び、計画的に進められるようにする ・企業調査の方法を冷静、冷静に企業を把握できるようにする ・SPI 試験の出題傾向を把握し、基礎力を向上させる						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1	SPI 試験の概要と対策（言語分野） ・SPI の出題範囲と試験の形式 ・各企業の適性検査の種類と特徴		8	エントリーシートの提出とスケジュール管理④ SPI 試験対策（総合）④		
	2	就職活動の全体像とスケジュール管理 SPI 試験対策（非言語分野① 数的滞在）		9	企業研究深層（事業内容・ビジョン・コラム） SPI 試験対策（総合）⑤		
	3	企業調査の重要性と情報収集の手法 SPI 試験対策（非言語分野② 資料解釈・論理）		10	面接対策の準備①（書類から面接へつなげる） SPI 試験対策（総合）⑥		
	4	企業が求める人材像を理解する SPI 試験対策（性格検査の理解）		11	面接対策の準備② SPI 試験対策（総合）⑦		
	5	エントリーシートの提出とスケジュール管理① SPI 試験対策（総合）①		12	面接対策の準備③ SPI 試験対策（総合）⑧		
	6	エントリーシートの提出とスケジュール管理② SPI 試験対策（総合）②		13	面接対策の準備④ SPI 試験対策（総合）⑨		
	7	エントリーシートの提出とスケジュール管理③ SPI 試験対策（総合）③		14	面接対策の準備⑤ SPI 試験対策（総合）⑩		
				15	評価試験		
使 用 教 材	書 籍 名				出 版 社		
	主教材	ボンコツOLでも成果を出せた!世界一やさしい仕事術図鑑			PHP 研究所		
	副教材						
実 習 環 境							
目 標 資 格	資 格 名				実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）				<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：R-31551

科 目 名			時間数(90 分)			
英語 3			講 義	演 習	実 習	合 計
			10			10
科 目 概 要	世界的に有名な事物、人物を英語で学習し日本語に翻訳するなど英問英答(英語による質問に英語で記述回答)ができるよう読解力を学ぶ。					
学 習 到 達 目 標	英文の構造、文法の構文、単語や熟語等の英文を構成する要素を学び、英語の読解力を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	Steve Job' s Legacy 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める		8	Facebook 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める	
	2	Disney and Marvel 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める		9	第 1 回～第 8 回のまとめ	
	3	The Appeal of Aloha 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める		10	評価試験	
	4	New York City 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める		11		
	5	Los Angeles 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める		12		
	6	Starbucks 本文を全て訳し、内容を理解する 題材の深い理解に努める		13		
	7	Amazon. com 本文を全て訳し、内容を理解する 深い理解に努める		14		
	題材の深い理解に努める		15			
			16			
			17			
			18			
			19			
			20			
			21			
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	Iconic America 知られざるアメリカの今		成美堂		
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：R-31601

科 目 名			時間数(90 分)			
画像システム論			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	マルチメディア表現としての図形や画像・動画像の特質について学習(色の表現法、画像ファイルの特徴、アニメーションとシミュレーションの違い等)し、web ブラウザ上において図形・画像が適切に処理・表現する手順を学ぶ。					
学 習 到 達 目 標	画像のコンピュータにおける表現方法と、基本的な画像処理方法(幾何学的変換、濃淡変換、平滑化、鮮鋭化、エッジ抽出)を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ディジタルカメラモデル アナログ画像とディジタル画像、画像の量子化		11	空間フィルタリング、エッジを保存した平滑化	
				12	エッジ抽出、領域に基づく変換による特殊効果	
	2	グレースケール画像とカラー画像、ベクタ表現とラスタ表現、2 次元座標、同次座標		14	画像の幾何学的変換、画像の編集	
				15	JavaScript を使った実習(画像の表示とグレースケール化)	
	3	2 次元座標系における合成変換、2 次元アフィン変換、3 次元変換		16		
				17		
	4	投影、カメラの基礎-露出、カメラの基礎-フォーカス		18		
				19		
	5	画像のダイナミックレンジと諧調表示		20		
	6	色の表現		21		
	7	画像の圧縮とファイル形式		22		
	8	2 次元画像の生成と描画		23		
	9	ヒストグラム		24		
10	トーンカーブ		25			
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	コンピュータグラフィックス		公益財団法人画像情報教育振興協会		
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：R-31691

科 目 名			時間数(90 分)			
コンピュータネットワーク論			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	インターネットに代表されるように、コンピュータネットワークは現在の社会に不可欠な存在であるため、その仕組みと動作原理を学習し、インターネットに関連する基本的な知識と技術を学ぶ。					
学 習 到 達 目 標	コンピュータネットワークの基本知識(ローカルエリアネットワーク (LAN)、プロトコルの概念、電子署名、暗号化通信)を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ディジタルデータ伝送の基礎知識		16		
	2	ローカルエリアネットワーク (LAN) の基本		17		
	3	LAN の具体的例題と動作原理の説明		18		
	4	OSI 参照モデルと TCP/IP プロトコル		19		
	5	IP プロトコルの基礎		20		
	6	IP アドレスの基本		21		
	7	IP アドレスの応用計算		22		
	8	ARP と DHCP の動作原理		23		
	9	ルータの役割と動作		24		
	10	TCP プロトコル		25		
	11	アプリケーション層のプロトコル		26		
	12	インターネット接続と関連知識		27		
	13	PKI と暗号化		28		
	14	インターネットセキュリティ		29		
	15	評価試験		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	情報通信概論		丸善出版		
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：R-31901

科 目 名			時間数(90 分)			
コンピュータグラフィックス論			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	コンピュータで 3DCG に着手し、コンピュータ内部に仮想的な 3 次元世界を作成し、そのなかにモデルを配置してどのように見えるかを計算する。作成にはモデリングとレンダリングを用いて行う。最終的にはディスプレイに表示できるように画像をデータ化する。					
学 習 到 達 目 標	・モデリング手法（ソリッドモデル、パラメトリック曲線・曲面等）を理解する ・レンダリング基本技術（陰面消去、シェーディング、マッピング）の原理を理解する ・アニメーションとシミュレーションの違いを理解する					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	CG で利用する数学		11	完全鏡面反射	
	2	モデル分析		12	スムーズシェーディング	
	3	2 次曲線		13	マッピング	
	4	パラメトリック曲線①		14	アニメーション	
	5	パラメトリック曲線②		15	科目評価試験	
	6	ポリゴン曲面とレンダリング曲面		16		
	7	バックフェースカリング スキャンライン法		17		
	8	レイトレーシング法 Z バッファ法		18		
	9	シェーディング		19		
	10	環境光と鏡面反射		20		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	コンピュータグラフィックス[改訂新版]		CG-ARTS		
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：R-31471

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報学概論			講 義	演 習	実 習	合 計
			10	20		30
科 目 概 要	ビジネス実務において用いられるロジックツリーなどのフレームワークをもとに、課題解決の進め方について学ぶ。また、大学科目のレポート課題等を題材とし、論理的な課題解決に関する演習を行う。					
学 習 到 達 目 標	現状を認識する上で必要となる情報収集力や、それを要約して報告書としてまとめる能力、課題解決に結びつけるための問題把握力、論理思考力を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	現状の把握と整理				
	2	レポート作成と フィードバック				
	～					
	5					
	6	意見のまとめ方・論理構成				
	7	レポート作成と フィードバック				
	～					
	12					
	13	問題の認識と原因分析				
	14	レポート作成と フィードバック				
	～					
	19					
	20	課題解決策・ロジカルシンキング				
	21	レポート作成と フィードバック				
	～					
	30					
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	配布資料				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-30341

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 3-2 (レベル 2)			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	総合情報処理 3-1 レベル 2 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-2	サービスマネジメント／システム監査				
	3	システム戦略／システム企画				
	4-6	経営戦略マネジメント／技術戦略マネジメント／ビジネスインダストリ				
	7-12	企業活動／法務				
	13-15	模試 3				
	16-18	弱点補強 3				
	19-22	弱点補強 言語系				
	23-26	弱点補強 設計系				
	27-30	国家試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～80 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：A-30351

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 3-2 (レベル 3)			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	総合情報処理 3-1 レベル 3 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-6	AM対策				
	7-13	PM対策				
	14-16	模擬試験 1				
	17-20	弱点補強 1				
	21-23	模擬試験 2				
	24-30	弱点補強 2				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～80 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：A-30361

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 3-2 (レベル 4)			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	総合情報処理 3-1 レベル 4 の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	AM対策				
	2-4	模擬試験 2				
	5-10	模擬試験 2 解説				
	11	AM対策				
	12-14	模擬試験 3				
	15-20	模擬試験 3 解説				
	21-27	弱点对策				
	28-30	国家試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～80 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科 目 名			時間数(90 分)			
自主課題研究 3-2			講 義	演 習	実 習	合 計
				30		30
科 目 概 要	自主課題研究 3-1 の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学 習 到 達 目 標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を 1 作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-30	自主創作(学習)活動				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～80 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：A-30382

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 4 (レベル 2)			講 義	演 習	実 習	合 計
			60			60
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-5	ガイダンス、基礎理論		48	サービスマネジメントとシステム監査	
	6-15	アルゴリズムとプログラミング		49	システム戦略と企画	
	16-20	コンピュータ構成要素		50-51	戦略マネジメント	
	21-22	システム構成要素		52-53	企業活動と法務	
	23-26	ソフトウェア/ハードウェア		54-55	模試 3	
	27	ヒューマンインタフェース/マルチメディア		56	弱点補強 3	
	28-29	模試 1		57-60	国家試験	
	30	弱点補強 1				
	31-35	データベース				
	36-40	ネットワーク/セキュリティ				
	41-42	システム開発技術				
	43-44	模試 2				
	45	弱点補強 2				
	46	ソフトウェア開発管理技術				
	47	プロジェクトマネジメント				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		各コースで選定された対策テキスト				
副教材						
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～80 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-30392

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 4（レベル 3）			講 義	演 習	実 習	合 計
			60			60
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3）」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス		53-55	模擬試験 3	
	2-4	コンピュータ科学基礎		56	弱点補強 3	
	5-7	コンピュータアーキテクチャ		57-60	国家試験	
	8-10	基本ソフトウェア				
	11-15	通信ネットワーク				
	16-20	データベース				
	21-25	ソフトウェア工学				
	26-30	システム構成技術				
	31-35	マネジメント				
	36-40	AM対策				
	41-44	PM対策				
	45-47	模擬試験 1				
	48	弱点補強 1				
	49-51	模擬試験 2				
	52	弱点補強 2				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～80 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-30402

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 4（レベル 4）			講 義	演 習	実 習	合 計
			60			60
科 目 概 要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス		52-54	模擬試験 3	
	2-3	情報セキュリティ		55-56	模擬試験 3 解説	
	4	リスクマネジメント		57	弱点对策	
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策		58-60	国家試験	
	13-15	ネットワークセキュリティ				
	16-18	電子メール、Web アプリケーション				
	19-26	認証技術				
	27-30	情報セキュリティマネジメント				
	31	AM対策				
	32-34	模擬試験 1				
	35-40	模擬試験 1 解説				
	41	AM対策				
	42-44	模擬試験 2				
	45-50	模擬試験 2 解説				
	使 用 教 材 <td>51</td> <td colspan="2">AM対策</td> <td></td> <td colspan="2"></td>	51	AM対策			
書 籍 名			出 版 社			
主教材		各コースで選定された対策テキスト				
副教材						
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～80 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：A-30412

科 目 名			時間数(90 分)			
自主課題研究 4			講 義	演 習	実 習	合 計
				60		60
科 目 概 要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学 習 到 達 目 標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1 作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-3	学習テーマ設定				
	4-60	自主創作(学習)活動				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 1 (50%) ・課題提出 2 (50%)			<評価基準> 100～80 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：A-31651

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 5-1（レベル 2）			講 義	演 習	実 習	合 計
			50			50
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-5	ガイダンス、基礎理論				
	6-13	アルゴリズムとプログラミング				
	14-17	コンピュータ構成要素				
	18-19	システム構成要素				
	20-24	ソフトウェア／ハードウェア				
	25	ヒューマンインタフェース／マルチメディア				
	26-27	模試 1				
	28	弱点補強 1				
	29-33	データベース				
	34-40	ネットワーク／セキュリティ				
	41-43	システム開発技術				
	44-45	模試 2				
	46	弱点補強 2				
	47-48	ソフトウェア開発管理技術				
	49-50	プロジェクトマネジメント				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	情報セキュリティマネジメント試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100％）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-31661

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 5-1（レベル 3）			講 義	演 習	実 習	合 計
			50			50
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3）」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-4	コンピュータ科学基礎				
	5-8	コンピュータアーキテクチャ				
	9-12	基本ソフトウェア				
	13-18	通信ネットワーク				
	19-24	データベース				
	25-28	ソフトウェア工学				
	29-32	システム構成技術				
	33-38	マネジメント				
	39-40	AM対策				
	41-44	PM対策				
	45-47	模擬試験				
	48-50	弱点補強				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-31671

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 5-1（レベル 4）			講 義	演 習	実 習	合 計
			50			50
科 目 概 要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-3	情報セキュリティ				
	4	リスクマネジメント				
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策				
	13-15	ネットワークセキュリティ				
	16-18	電子メール、Web アプリケーション				
	19-26	認証技術				
	27-30	情報セキュリティマネジメント				
	31	AM対策				
	32-34	模擬試験 1				
	35-40	模擬試験 1 解説				
	41-49	弱点対策				
	50	科目試験				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		各コースで選定された対策テキスト				
副教材						
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：A-31681

科 目 名			時間数(90 分)			
自主課題研究 5-1			講 義	演 習	実 習	合 計
				50		50
科 目 概 要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学 習 到 達 目 標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-3	学習テーマ設定				
	4-50	自主創作(学習)活動				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		